



肝付町議会議長 恒吉 智彦

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年の幕開けをご家族お揃いでお迎える事とお慶び申し上げます。私も肝付町議会は、昨年4月の改選において新しく6名の議員が誕生し、14名が一丸となって町民の皆様への安心・安全な暮らしの実現や町政発展のために活動して参りました。

昨年は、迷走台風や西日本豪雨そして北海道胆振東部地震等により甚大な被害が発生し、多くの方が犠牲となりました。亡くなられた方々に哀悼の誠を捧げると共に、ご遺族の心のケアそして未だ避難所生活を余儀なくされている方々の一日も早い復旧・復興を願うと同時に、今年は災害のない年である事を祈っております。

さて、今年は4月30日に天皇が退位され、皇太子殿下が5月1日に新天皇に即位される事となっております。政府は新元号の発表を新天皇が即位される1か月前の4月1日を日



通水した荒瀬ダム

途に準備を進めると発表しました。新元号がどうなるのか興味のあるところですが、これからは戦争のない平和な日本であり続けることを願うばかりです。1月17日にはイプシロンロケット4号機が内之浦から打ち上げ予定となっております。成功を祈ると同時に多くの方に感動を与えてくれる事と信じております。また、農業においては波見地区に建設中で

あつた荒瀬ダムがその工事をほぼ終了し、去る7月21日に通水式があり、共用が開始されました。今後はダムの水を活用して様々な農業を展開・推進する事により本町農業の総生産高の引き上げを図ることが私たち行政に課せられた大きな課題であると思っております。

結びに、私たち町議会は常に町民の目線に立ち、創造性豊かな政策作りに努め、皆様に信頼される開かれた議会を目指して参りますので皆様には今後共より一層のご理解ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝ご多幸を祈念致しまして私の新年の挨拶と致します。

